



黒潮

〈校訓〉
前進

伊仙町立伊仙中学校

「さまざまな教え」

校長 高橋 裕雅



座右の銘という言葉がありますが、そこまで大げさではありませんが少年時代からそれぞれの時代で出会った忘れられない言葉があります。

あせるな おこるな いばるな くさるな おこたるな

小学生の頃、家の柱に貼ってあり、最初に出会った教訓です。「おこたるな」の意味を初めて知りました。

努力する者は希望を語り 怠る者は不満を語る

20代の頃先輩から教わった言葉です。愚痴をこぼしたり言い訳をしたりする自分を恥ずかしく感じました。

やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ

山本五十六の言葉です。ほめるということについては、「人は根柢のないところでほめられても少しもうれしくない」ことから、生徒が本当に頑張ったところ、工夫したところに気付ける教師でありたいと思いました。

(将棋の名人がどんな時に長考しますかと問われ) それはいまうまいくすぎている時です。だって物事はそんなにうまくいくはずがないでしょう。

車の運転と同じで慣れた頃が危ない、または物事が順調すぎる時が危ないと油断大敵の戒めにしました。「船は風(なぎ)に衝突し 月夜に座礁する」という言葉も同じです。

人間は一生のうち逢うべき人には必ず逢える。しかも一瞬早過ぎず、一瞬遅過ぎない時に

教育者の森信三の言葉です。少しずつつ年を重ね、苦い経験もする中で、多くの方に助けていただきました。一期一会、出合いを大切にしたいと思います。

最後に、若い頃ならあまり何も感じなかっただろう、今この歳だから考えさせられる俳句を紹介します。

浜までは 海女(あま)も蓑(みの)を着る 時雨(しぐれ)かな

どうせ海に入れば濡れてしまうが、それでも雨を避けて蓑を着る。最後の最後まで自分を大切にしたい前向きに生きていく努力を重ねたいものです。



鹿児島学習定着度調査を終えて (2/6)

1月16・17日に実施された鹿児島学習定着度調査の結果が出ました。2月5日に職員研修を行い、結果分析と今後の対策について検討しました。



令和5年度 鹿児島学習定着度調査(平均正答率)

	中 1				中 2					
	伊仙中	県・地区との差		地区	県	伊仙中	県・地区との差		地区	県
		地区	県			地区	県			
国語	70.2%	-4.1%	-5.7%	74.3%	75.9%	55.3%	-8.3%	-10.3%	63.6%	65.6%
社会	62.8%	7.7%	8.4%	55.1%	54.4%	65.4%	2.7%	3.1%	62.7%	62.3%
数学	71.6%	-1.5%	-2.7%	73.1%	74.3%	64.6%	-4.2%	-4.2%	68.8%	68.8%
理科	64.4%	-2.0%	-1.9%	66.4%	66.3%	60.5%	-7.5%	-6.4%	68.0%	66.9%
英語	74.4%	-2.2%	-2.6%	76.6%	77.0%	60.7%	-10.1%	-10.7%	70.8%	71.4%
平均	68.7%	-0.4%	-0.9%	69.1%	69.6%	61.3%	-5.5%	-5.7%	66.8%	67.0%

※2月末日現在の速報値です。3月の県の報告書に記載される数値が正式な数値となります。

＜結果・考察＞

- 昨年同様、社会科が1・2年とも県平均を上回りました。
- 1年生は県平均との差が縮まってきている傾向にあります。
- △ 問題の意図を読み解く「読解力」が求められています。最後まで読み通す粘り強さも必要です。



＜今後の取組＞

- ・ 学習過程の中に、根柢を明確にしながら自分の考えを伝えられるような活動を設定する。
- ・ 授業の中に1時間の学習の振り返りや演習の時間を設定する。
- ・ ICTの効果的な活用について研修し、工夫・改善に取り組む。
- ・ 出題傾向を把握し、家庭学習等も含めて、普段の学習の中で類似問題に取り組ませる。

授業参観・学級PTA (2/19)

今年度最後の授業参観・学級PTAがありました。学級PTAでは、この一年を振り返りつつ、3年生は公立高校入試に向けての確認や卒業までの過ごし方、2年生は受験生になる来年度のこと、1年生は2年生になる心構えについて、と、それぞれの学年で次に向けての確認がありました。今年度もあと一か月、次につながる締めくくりをしていきましょう。



3月の行事予定

- 1日(金) 1年 じゃがいも収穫
- 5日(火) 公立高校入学者選抜(~6日)
- 6日(水) ノメディア・ノ部活デー
- 8日(金) クラスマッチ, 移動図書館
- 11日(月) 3年 同窓会入会式
- 12日(火) 第76回卒業式
- 13日(水) ノメディア・ノ部活デー, 公立高校合格発表
- 17日(日) クリーン作戦
- 25日(月) 修了式, 離任式



おめでとう!

準優勝 第13回徳之島中学校親善野球大会(田尾旗)



第2回学校運営協議会 (2/20)

今年度2回目となる学校運営協議会を開催しました。授業参観後の協議では活発な意見交換がなされ、委員の皆さん始め地域や保護者の方々为学校のこと、子供たちのことを真剣に考えてくださっている思いが感じられました。今後も地域や保護者の方々の期待に応えられる学校を目指して努力していききたいと思います。



協議で出されたご意見

- 体育大会は一生懸命取り組んでいた。子どもはやればできる、磨けば光る。
- 自然体験活動も熱心に取り組んでいて素晴らしい。学校だけでなく家族や友達と活動に参加する機会があるとよい。
- 自分で考えて意見が言える子が少ないように見える。
- 部活動の地域移行については、文化系のクラブも検討してほしい。
- 保護者は、子供が勉強に向かうような環境づくりをする必要がある。保護者が、子どもが勉強しなくても平気、ではよくない。
- タブレットの利用について、休み時間にゲーム、持ち帰ってもゲーム・動画になっていないか。
- 英語の学力が低いとICTの活用や進学に影響があるのでは。普段から英語に触れる環境があったら良いと思う。
- 45年前の伊仙中は生徒数300人、現在89人→この人数がこれからの伊仙町、社会を担っていく。1人1人の役割が大きく、1人1人を大事にした教育が必要。
- 教育の「育(てる)」を大事にしてほしい。育てる→ローマ字で「sodateru」これのsを隠すと「odateru おだてる」になる。良いところをほめて伸ばす教育をしていきましょう。



新刊本の紹介

図書室に新刊本が46書119冊、入りました。小説からプログラミング学習本まで、いろんなジャンルの本が揃っています。今回は、国語科の文元先生が特におすすめする10冊を紹介します。学力の基礎は読解力にあると言っても過言ではありません。ぜひたくさん本を読んでほしいなと思います。



- ① 中学生までに読んでおきたい日本文学(全10巻)
- ② 歴史漫画タイムワープシリーズ(伝記編 全3巻)
- ③ 奄美人入門
- ④ 教室で読みたい本(全23巻)
- ⑤ ぼくが選ぶ ぼくのいる場所
- ⑥ 10代に贈る読みだしたら止まらないセット
- ⑦ 部活系空色ノベルズ(全3巻)
- ⑧ ビジュアルでつかむ古典文学の作家たち(全3巻)
- ⑨ 宗田 理「ぼくら」シリーズ(全29巻)
- ⑩ 学校に行けないときのサバイバル術(全2巻)

